

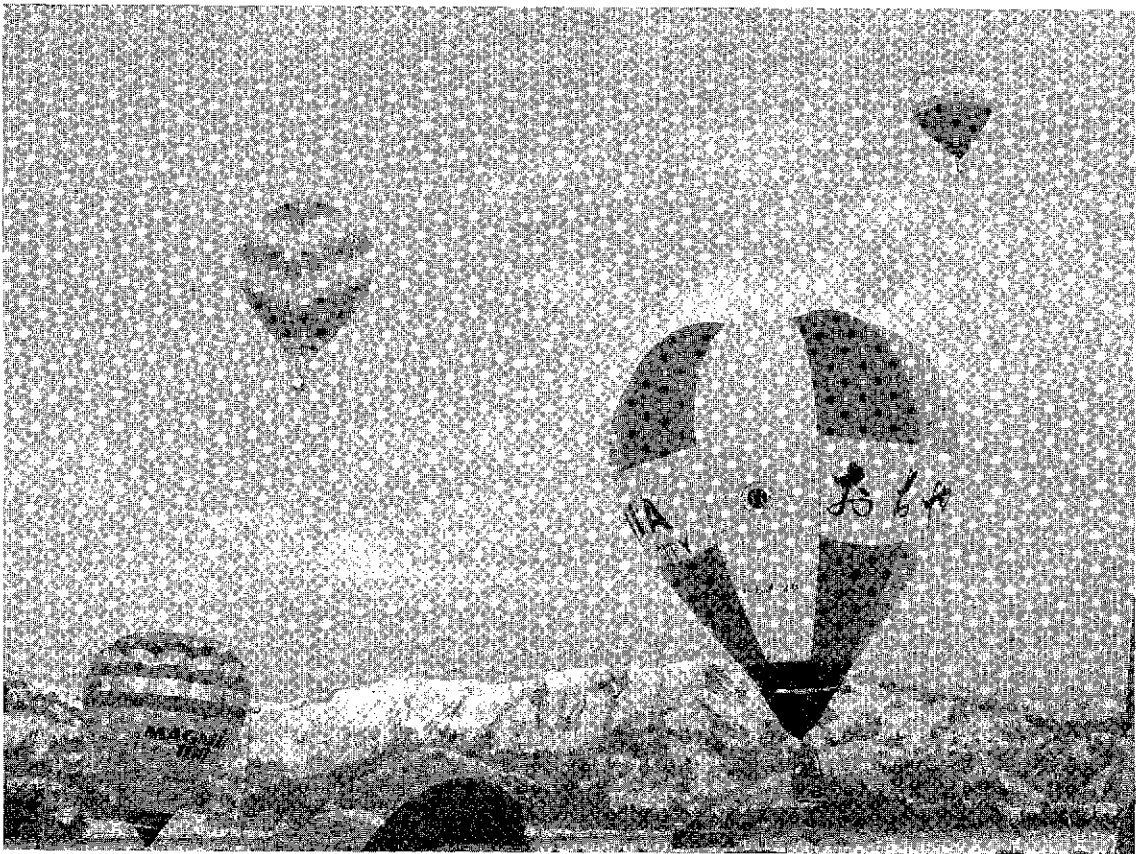
新潟県

平成3年

# 公民館月報

3月  
第457号

## 私が見聞したヨーロッパの成人教育



うかぶ  
うかぶ

君の夢をのせて  
無限の歓喜よ 永遠なれ

帰らぬ日々は

白フインの雪の海原

出会いと思い出を

たずさえて

山なみと空間は

いるところの

バルーンに染められた

この感激は

過去から連なる

永劫のひととき

摩耶原 次郎  
(小千谷市船岡一丁目)

### 公民館長の研修内容希望調査

(各問い上段は館長経験1~2年者)  
下段は3年以上の経験者

	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
1. 公民館とは何か										23.8	
										15.9	
2. 公民館の歴史			5.1								
			6.0								
3. 社会教育行政と公民館の関係										40.7	
										41.9	
4. 生涯学習の推進と公民館の役割										67.8	
										84.3	
5. 社会教育に関する法令の解説			5.1								
			7.9								
6. 公民館をのぞく現状と課題										49.2	
										79.4	
7. 公民館長の職務~任務と役割~										54.2	
										45.0	
8. 公民館施設の維持管理の実態			15.3								
			12.6								
9. 公民館事業の実態~主催事業の展開~										47.5	
										42.4	
10. 公民館事業の実態~団体の育成や連携~										47.5	
										55.0	
11. 公民館職員について										11.9	
										21.9	
12. 公民館運営審議会について										18.6	
										17.9	

会務の報告、収支決算見込みの報告、平成三年度の収支予算案、ならびに基本方針事業計画の立案であった。このうち、主要事業については次のとおりである。

最大のイベントは第32回関東甲信越静公民館研究会(兼第

## 第四回理事会開催

二月二十六日(火)午前十一時から新潟市中央公民館を会場に、平成二年度第四回の理事会が開催された。

議題は、今年度末の締めくくりであることから、今年度下半期の

# 新年度事業を検討 目玉を関プロ集会におき

42回新潟県公民館大会を共催の主管である。先般の関プロ公連理事会において基本線の了解を得、いよいよ本格的に始動することになる。なお開催要項の詳細は本紙四月号で紹介することになっているが、日時・会場・参加費は次のとおりである。

## 生涯学習の推進に関心集中

### 館長研修の内容希望調査まとめ

先に公民館長を対象に、研修内容の希望調査を実施していたところであるが、このほど集計

結果がまとめられた。回答は18市17人、77町村95人の公民館長から得られた。また、経験年数では一・二年経験者61人、三年以上151人で、表に見られるように極めて特長的な結果が示されている。

それによると、当然のことながら、三年以上の経験者の希望する内容が焦点化されているのに対し、初任者の希望は各項目に散らばっていることである。

その違いはあるにしても、「生涯学習と公民館の役割」について圧倒的な希望を寄せていることがわかる。

て、公民館長研修の実施である。これは、かねてから強い要望のあったことに応えるもので、試行的に実施するものである。(このため、職員研修は県主催研修に依存することとして県公連の主催は中止した。)

試行とは言いながらも、平成四年度以降に継続することを想定し、研修内容や日程を十分に練ることとしている。なお実施時期は十一月中旬になる模様である。

## 関プロ公連理事会開催

二月十二日(火)、東京青山会館において、第三回関東甲信越静公民館連絡協議会理事会が開催された。

主要議題は、昨年九月に開催された、第三十一回関プロ公研集会の収支決算報告がなされ、承認。続いて、来年度本県湯沢町で開催される、第三十二回集会の日程、内容等について、本県案が、原案どおり承認され、いよいよ集会の具体的な準備が進められることになった。

第三の議題は、「視察に適する公民館」の更新に関するもの。各都県とも、必要な点は認めつつも、全公連で、目下作成中のこともあって、その「公民館名鑑」の完成後、詳細を検討し、決定することとなった。

地域住民への思いやりと

あたたかいコミュニケーション

公民館  
自治館

# 総合補償制度

加入受付中

取扱店 安田火災海上保険(株)新潟支店 TEL.(025)225-1812

# 月報紙面に新しい風を

## 第四回編集委員会開催

二月二十日(水)、午後一時半から新潟市中央公民館を会場に第四回編集委員会を開催した。

議題の第一は、県公連創立四十周年記念誌の作成に関し原稿提出への協力依頼。

議題の第二は、県公民館月報の紙面刷新に関する事。来年度に向けて新企画が続々と提案された。新しい風の当たったところは次の諸点である。

三面の「公民館歳時記」に変わる。

「広場」が登場する。これは、市町村の公運審委員の方々から、ある日の思い出など個人的な随想や意見、委員の活動の様子やトピックス、ユーモアのあるものなど、気軽な内容にし、委員相互の交換の広場とする。

四・五面の特集記事は、従前のものを踏襲するが、各地の研修会での発表内容や、県外先進公民館の事業紹介も取りあげる。

六・七面は、読者の関心の深い部分なので、今までどおりとするも、より広く全県の各地の実践事例や、サークル交流・素顔拝見を取り上げる。

八面のネットワーク欄に、「まちらむらから」を入れる。これは、各地のあまり知られていない見学地・名所旧蹟などを紹介する。そのねらいは、視察研修に出かけた際のプラスワンとしての見学地を紹介すること、より豊かな研修成果を得ようとするものである。

なお、ご惠贈の広報紙から文芸作品の紹介などを工夫し、うるおいを持たせた紙面とする。

部体協事業を除き、殆んどどの活動に公民館職員が関わっている。町民の生涯学習に対する意欲、要望もますます多様化する一方である。

公民館長(非常勤)、社会教育指導員(非常勤)、社会教育指導員各一名(共に非常勤) 主事2名、それに図書・夜間業務・清掃の臨時職員三名が現体制だ。指導者の発掘、ボランティアの育成を急ぐ必要がある。

(小須戸町教育長)

# 辛口

町村規模では公民館こそ社会教育の核である。この町では、本館(中央館)と旧小学校区単位に四つの分館がある。そしていずれもコミュニケーションの役を果たしつつある。コミュニケーション

ターは単なる集会所施設の名称と誤解している向きも一部にはある。そこで行われる事業・活動の意味のある内容こそがセンターの名に値するものでなければ意味がない。分館

## 指導者ボランティア育成を

榑 克己

は住民運動の促進、地域づくりを目標に公運審の協議を経ながら本館と連携を保って事業を進め、運営は夫々の町内会・部落が選ぶ役員が全て自主的に運営

している。本館は全町民対象の学習活動を主体とする事業が中心で、文化活動は四十二団体(八四〇名)加盟の文化協会が、体育レクリエーションは体育協会で事業を行い、それら

の指導助言と団体の育成を任務としている。今まで手薄だった婦人層・高齢者層の健康づくり体力づくり運動も計画、さらにスポ少年とも関わりを持ち、一

# 公民館と私

||人、人、人||

山田 欽二



突然公民館の館長を命ぜられ身に余る光栄と喜んだの

石の上に三年というが、このころは一声かければ教室がいっぱいに人々が集まるようになった。

公運審や各運営委員会での協議は努めて具体的な事例を取り上げ、皆の声は可能な限り吸いあげることになった。これは参加意識を大いに高め今日を支えている。今にして見れば当時の苦渋が嘘のようだ。もちろんやる気満々の熱意をもったスタッフの二人が昼夜を惜まず励んだことが人々の心に響いたことと感謝している。

公民館は「人、人、人」の結晶だと思ふ。運営も人活動するの人も人、実を結ぶのも人であるから。

生涯学習の時代を生き抜くために等というめんどうなことがらは専門家にお任せしよう。引退するに当り多くの友に、これだけは残したい。

▲自分のやりたいことが相手に伝わり、それが実を結ぶように努力することを!!

(加茂市公民館長)

## 公民館歳時記 (10)

私を含めて三人のスタッフ、何を企てどう市民に伝えればよいのか苦悩の毎日であった。

就任して初めて開設した家庭教育学級、結構人が集まった。

ところが回を重ねるうち、その数は減る一方、講師には三拜九拝で、教室を立て直しに迫られ、とんだ苦勞をしたものだ。

当然にして他の学級も同じ傾向、私にとって大変な課題である。兎に角この大きな壁を打ち破らなければ公民館の活性化等あろうはずがない。どうすればよいのだ、考えている余裕はないが、先ず「人々が集まる公民館」を日指し「集い、学び、結ぶ」の心を事ごとくに説いて廻った。

### 執筆者紹介

新潟市教育委員会社会教育主事  
伊田 千代子 氏

平成元年まで、新潟市鳥屋野地区公民館の社会教育主事として勤務。

都市型公民館の事業、特に女性対象の事業については卓抜した研究と実績を持つ。本会の主催事業「公民館職員研修」の指導者としても活躍された。



### はじめに

文部省主催の社会教育主事等海外派遣研修に参加でき、イギリス・ベルギー・西ドイツ・ハンガリー・スイス・フランスの六か国を訪問する機会を幸運にも得た。

限られた時間と言葉の壁のなかで、私が見聞きしたヨーロッパの成人教育の実体と社会教育施設の現状の一端を紹介する。

#### 一、ケンブリッジ

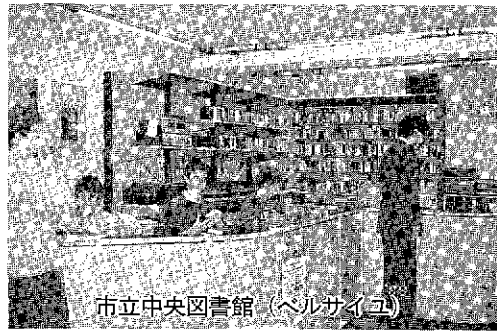
人口十万人のケンブリッジは大都市として知られているが、緑いっぱい美しい都市であった。私の泊まったホテルの前には、晩秋でも青々とした芝生が一面に広がる公園があり、子どもたちが元気よくサッカーを楽しんでいた。落ち着いた町並みで、時間がゆっくりと流れている。学園都市にふさわしい環境である。

#### (1) 中央図書館

中央図書館は人通りの多い繁華街にある。三階建ての建物で一階は図書の貸し出し、二階にはインフォメーションの提供、三階では郷土史を中心にフロアーを性格づけている。

#### ① 外国語はフランス語やドイツ語といったメジャーな言語だけでなく、ベトナム語、ギ

リシヤ語などをそろえる、少数民族への配慮をおこなっている。



市立中央図書館(ヘルサイユ)

② 需要の多い分野(小説・ドキュメンタリー)には活字の大きい本も用意している。

③ 物語のカセットテープを用意し、子どもも利用しやすい方法をとっている。

④ レコードやCD・ビデオテープ・絵の貸し出し。

絵を家に持ち帰り、一カ月間鑑賞することができる。そしてその絵が気に入った場合には購入することもできる。

⑤ 老人・病人・主婦(在宅)障害者施設への出前サービスをしている。

⑥ オンラインシステムによるビジネスなどの情報提供(有

料)が上げられる。社会的弱者への徹底した配慮を痛感した。

#### (2) アングリシア高等学校

イギリスの高等教育は大学部門と非大学部門の二元制度に二分される。非大学部門はポリテクニクス(総合技術専門学校)と教育カレッジを中心に、継続教育の上級コースを受け持つ。非大学部門でも、学位授与会(CNAA)で認められると学位の授与が行なわれる。

この学校は、もともと市に所

属していたが、私立に移管されている。

〈学生数〉一万人のうち

・フルタイム 千二百人(学位取得を目指す)

・パートタイム 四千人(十週間から二年間)

・残りは簡単なコース

〈講師〉専任三百人 パートタイム三百人

〈アシスタント〉百人(千五百人

人)

〔特色〕  
○ ポリテクニクスの一つであり、職業にかかわる内容が多い。

○ 企業の要望に応じてコースを組んだり、出前講座を行なう。

○ コースとしては、アクセスコース(二十一歳以上の学生を対象により高度な学習)とスタディコース(十週間程度)がある。

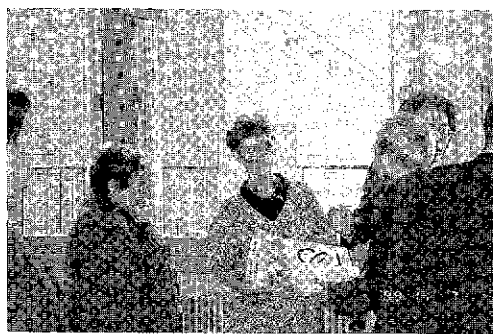
#### 〈女性学修士コース〉

このコースは主任講師から直接説明を受け、力の入れようが伺えた。

#### ○ 講座委員会の設置

講師・図書館代表・視聴覚関係者・受講生代表者から構成、方針を立てる段階から開催する。

学生にとって自己主張する最高の場である。



国際的女性グループの代表者から活動の説明を受ける。  
「ブラッセルの女性のための家」

# の成人教育 に参加して

# 私の見聞したヨーロッパ

## 海外派遣研修

日本では、一部の大学の教養過程の選択科目の一つにすぎない。

### 〔特色〕

イギリスの成人教育機関は州(県にあたる)・市教育委員会、大学、オープン・ユニバーシティ、労働者協会である。横の連携は少ない。

○18歳以上であれば誰でも入学許可。

○宿泊施設の完備(50人収容)

○夏期開設コース

○政治・歴史・法律などの20

コースあり、大学レベルの内容

が受講している。

○仕事に関するコース

○エン지니어リング、法律な

ど専門的にもっと深く学習し

たい人のためのもの。

○一般の人のために、地域に出

向くコース

○講師は大学より派遣し、三

日から数週間にわたり実施す

る。

(3) ユースクラブ

○少年を対象とした集会所

が配置され、職員を中心にイ

ベントの企画・運営がなされ

ているが、軌道にのれば、手

を引くことになっている。

(4) ケンブリッジ大学アダル

トエデュケーション部

〈大学構外教育部〉

○ジェームズ・スチュアートに

よって一八七三年から開設し

ている。

○学科は、医学以外すべての学

科・芸術・歴史・文学を取り上

げていて、学位を取得できるレ

ベルを実施している。

○昼・夜のコースを増加し、大

きな役割を果たしているが、夜

のコースでは学位の取得は難し

い。

○受講者は、若い人より年配者



ユースクラブを利用する少年たち(ケンブリッジ)

男性よりも女性。教育の低い人

よりも高い者が多い。

○おもしろい傾向として退職者

の活躍が目立つとの説明だっ

社会文化センターで所長の説明を聞く(ベルサイユ)



### 二、ベルサイユ市

○パリの西南西23軒位置する人

口9.5千人の都市。

○ベルサイユ宮殿や庭園で世界

的に有名であり、観光都市であ

るが、古くから行政の中心で

あった。

○〈市民大学〉

○一九七七年に十八歳以上のあ

らゆる人々のために学習機関と

して開設されている。

○ソルボンヌ大学(パリ第四大)

と関わりが深く、講師陣のほと

んどは、ソルボンヌ大学から派

遣される。

○内容は語学、一般教養、絵画

などレベルが高い。

○受講者は、十八歳から八十歳

までと幅広く、一〇九八人。その内訳は十八歳から五十歳まで八十四人、五十一歳から六十歳まで八十七人、六十一歳以上は九二一人。

### おわりに

イギリスのケンブリッジのユースクラブに勤める職員が「たとえ、一人でも要求があればそれを支援していく」と言い切った背景に、教育に対する考え方の相違を感じた。私たちが外部者であるから言えたのかも知れないが、私達の見た限り、訪問先の施設では、小人数であった。内容は多種多様で、趣味程度のものから大学レベルのもの、職業に関するものなどきめ細かく用意されている。また、時間帯も期間も昼・夜のコース、短いものから長期間のものまで参加しやすい形態をとっている。大学開放は一九〇〇年代から労働者のための教育からスタートしただけに、教育の歴史や伝統の重みをあらゆる場面で痛感した。これは、わたし一人ではなく、参加者全員の一一致した意見だった。

生涯教育の前提条件である学習者の主体性を考える上で、大いに参考になった。

# 新津市中央公民館

## 育て!! ガキ大将

……未来にはばたけ……

一 はじめに  
山あり、川あり、田んぼありの新津市では小学生期の子供の遊び場や仲間づくりの場はいくらでもある。しかし、夕暮れまでバカになって友達と遊んでいく子供たちは少なくなっている。また、

平成二年度の小学生の部は、前年の二倍近い250名(なぜか女子が圧倒的に多い)の参加申し込みがあり嬉しい悲鳴をあげている。

一般指導者は  
公務員・会社員・教員・団体職員・タクシー運転手・看板業・看護婦・大工・調理師・主婦等バラエティに富んでいる。

表1 青少年地域活動組織体系

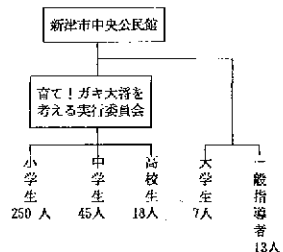


表2 育て/ガキ大将 体験学習年間計画表

月日	学 習 内 容
5月13日(木)	「やあ、はじめまして」(参加する仲間とともに)
6月17日(日)	野外遊びと自然観察を楽しもう(秋葉山)
7月22日(日)	川遊び
8月5日~8日(月~水)	手作りキャンプ~野外で集団生活にチャレンジ(3泊4日)
9月8日~9日(土~日)	天体観察と道筋ハイキング(1泊2日)
10月14日(木)	鯉乳洞探検(田上町)
11月18日(日)	楽しい工作(その1)
12月16日(日)	楽しい工作(その2) ミニクリスマスパーティー
1月20日(日)	自然科学館を訪ねて
2月17日(日)	楽しい工作(その2)
3月17日(日)	総まとめ 一昨日に向かって 育て/ガキ大将一

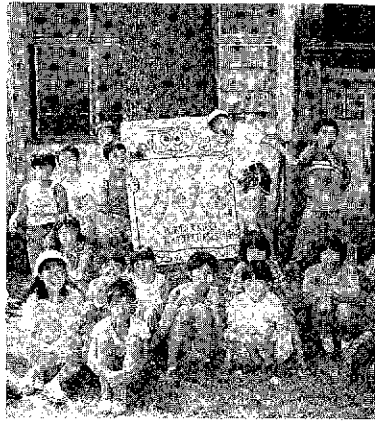
地域や家庭に都会的風潮が浸透し、遊びでも、仲間づくりでも奇麗なものになってきた。そんな中で小中高校生を対象とした青少年地域活動組織が発足し、4年が経過した。ここでは小学校4~6年の事業について紹介する。

二 事業のねらい  
親しい友達と一緒に行動している時や遊んでいる時は、動作も顔も子供らしくなり、目も輝いている。  
仲間づくりと遊びの体験学習の中で、地域の豊かな生活環境を育むねらいで、昭和62年に青少年地域活動事業(育て/ガキ大将)が始まった。事業は国庫補助事業である。

三 仲間づくりの仲間たち  
子供たちによる仲間づくりと将来への期待が目的であるためなるべくお堅い方々を避けた人員構成となっている。  
その主たる役割内容は、  
○ 年次計画の企画・運営  
○ 計画実行の準備  
○ 活動の引率・指導  
○ 活動の反省  
(表1参照)

四 体験学習活動の内容  
内容は参加者が首を傾げるようなものは避け、単純で取っ付きやすいテーマを組み合わせてある。(表2参照)  
五 家庭及び子供たちの反応  
個別送迎のため、集合と解散の時間帯は親達の会話を聞く絶好のチャンスである。会話の中心は様々であるが、中には相違な期待をして子供を参加させている親もいるらしい。  
公民館や実行委員の評価は聞いた事がないが、そんな事はどうでも良い。親から見た子供たちの評価が確実に上がっている話を耳にすると、実行委員一同

思わずニンマリしている。  
一方、子供たちはと言うと、友達同士誘い合って参加した積極派の子供も多いが、親(母親の方が多し)に勧められて参加したおとなしい子供もいる。しかし、さすがは天真爛漫な現代っ子である。初参加の時こそ緊張しているが、帰りにはしっかりと何人かと仲間になっている。計画も末期になってくると、来年もまた参加しようという約束している姿が見られる。  
六 おわりに  
組織が円滑に運営されるには、指導者が重要な役割を持つことは言うまでもない。組織は前表のようになっていくが、実際は一般は指導者クラスによる毎週木曜日夜の会合で、次回計画の具体的な打ち合わせをしている。ほとんどの指導者が家庭持ちの勤労者のため、計画の実行に当たっては、指導者間のや



り繰り返す深刻な問題となる。事務局としては、唯々頭の下がる思いである。最後に運営に当たり感じたことは、  
○ 計画に当たっては、役所的な要求や意見は避け、指導者に主体生を持たせ積極的に活動してもらうこと。  
○ 指導者の中に、多数の同意を得る多様な意見を提案する技術を持った人がいること。  
○ 指導者や子供たちに公平に接すること。  
○ 都合で欠席した子供には、次回の活動日に積極的に話しかけること。  
テレビゲームや一人遊びは何時でもできる。大勢の仲間と知り合い、様々な活動を通して子供らしい創造が生まれてくる事を期待し続けて、ガキ大将の未来を見守りたい。  
(新津市中央公民館社教主事 小野康樹記)

思わぬニヤマリしている。  
一方、子供たちはと言うと、友達同士誘い合って参加した積極派の子供も多いが、親(母親の方が多し)に勧められて参加したおとなしい子供もいる。しかし、さすがは天真爛漫な現代っ子である。初参加の時こそ緊張しているが、帰りにはしっかりと何人かと仲間になっている。計画も末期になってくると、来年もまた参加しようという約束している姿が見られる。  
六 おわりに  
組織が円滑に運営されるには、指導者が重要な役割を持つことは言うまでもない。組織は前表のようになっていくが、実際は一般は指導者クラスによる毎週木曜日夜の会合で、次回計画の具体的な打ち合わせをしている。ほとんどの指導者が家庭持ちの勤労者のため、計画の実行に当たっては、指導者間のや

り繰り返す深刻な問題となる。事務局としては、唯々頭の下がる思いである。最後に運営に当たり感じたことは、  
○ 計画に当たっては、役所的な要求や意見は避け、指導者に主体生を持たせ積極的に活動してもらうこと。  
○ 指導者の中に、多数の同意を得る多様な意見を提案する技術を持った人がいること。  
○ 指導者や子供たちに公平に接すること。  
○ 都合で欠席した子供には、次回の活動日に積極的に話しかけること。  
テレビゲームや一人遊びは何時でもできる。大勢の仲間と知り合い、様々な活動を通して子供らしい創造が生まれてくる事を期待し続けて、ガキ大将の未来を見守りたい。  
(新津市中央公民館社教主事 小野康樹記)

り繰り返す深刻な問題となる。事務局としては、唯々頭の下がる思いである。最後に運営に当たり感じたことは、  
○ 計画に当たっては、役所的な要求や意見は避け、指導者に主体生を持たせ積極的に活動してもらうこと。  
○ 指導者の中に、多数の同意を得る多様な意見を提案する技術を持った人がいること。  
○ 指導者や子供たちに公平に接すること。  
○ 都合で欠席した子供には、次回の活動日に積極的に話しかけること。  
テレビゲームや一人遊びは何時でもできる。大勢の仲間と知り合い、様々な活動を通して子供らしい創造が生まれてくる事を期待し続けて、ガキ大将の未来を見守りたい。  
(新津市中央公民館社教主事 小野康樹記)

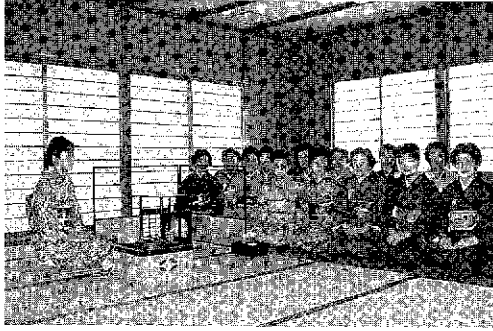
# サークル交流

一皿になごむ

## 新穂村 茶道クラブ

私達茶道クラブ十七名は、年間十回の運営で公民館を借用し、薄茶・濃茶の平点前と、席入りの作法などを学習の内容として稽古に励んでいます。初釜席を毎年一月に設け、仲間で喫しながら楽しく学んでいます。この度村民展の一環として、

茶会を通し発表の機会を与えて頂きました。会場設営・有線放送でのPR等、公民館の全面的な御協力のお陰で、予想を大きく越える百七十名余の人に、一



皿を味わって頂きました。村民展に一段と和やかな雰囲気を与えたのではないかと喜んでおります。勉強不足の不安と気恥ずかしきのなかで、客を迎えた時の緊張は、クラブ員一同の得難い体験となりました。  
「おばあちゃん、赤い毛せんの上で大きなお茶碗でお茶を飲んだんなあ。」初めて経験した孫が手真似を交えながら話すのに、「あんたも行儀がよかったじゃ」と相づちを入れるおばあちゃん。  
このような後日談を幾つも聞くことができ、その旅に何かほのぼのとしたものを感じ、(やってよかった)と静かに振り返っております。(渡辺マサ子記)

## 合唱の楽しさを味わう 見附市 わかばコーラス

私達わかばコーラスは公民館のコーラス講座からサークルへ発展し、昭和五十四年独自の発表会を始めました。その頃公民館の方から車を運転していただき、アナウンスよろしく「本日七時より中央公民館において、わかばコーラスの発表会をいたします。皆様のご来場を心より



わかばコーラス

お待ち申し上げます。」とドキドキしながら回りました。皆でポスター、プログラム、会場づくりと全て手作りで当日やっと全員で練習、幕開けとなりました。

発表会の当日、皆の団結力はすばらしく、幕が閉じるまで全身全霊をこめて歌いまくり、若者顔負けのエネルギーでした。今では新潟や長岡のおかあさんコーラスの発表会にも毎年参加し、依頼されて歌わせていただく時もあります。

これからも私達のサークルは春の若菜のように身も心もさわやかさ、美しさを失わないように皆さんと共に力を合わせてハーモニーを大切にし、楽しみながら歌い続けていきたいと思っております。(鈴木知加子 記)

## 村上市瀬波地区公民館

主事 建部 昌文氏 (31歳)

平成元年四月、市民課から公民館へ来て二年目。『まっちゃん』の愛称で親しまれている彼もようやく公民館の「顔」になってきた。

公民館の仕事は？と聞くと、「幼児からお年寄りまで多くの市民と対話する機会が多くうれしい。事業の中に自分のアイディアを取り入れることができる楽しさがある。でも、事業



でも、事業

## 素顔 拝見

## 田上町教育委員会社会教育係長

児嶋 敏栄氏 (41歳)

税務課から教育委員会に配属になり、前任者と違い公民館職員と共に机を並べ、社教の仕事を担当してから二年目が終えようとしている。

一年目の夏、新大で実施された社教主事講習を受講し資格を得、社会教育の基礎力を学び幅広い識見を身につけた。

本来が仕事熱心の上に行働力が抜群である。率先躬行型で職員の手引的存在である。行政手帳もさるもので二年目に入ると古ぼけた館内の施設、設備が



改善、充実され利用者に喜ばれている。活動面では出前講座や子ども映画教室を新設し、公民館の仕事は「人と人とのふれあい、町民の誰でもが気軽に参加できる学習活動の展開で、地域に根ざした活動の推進」を本人はモットーにしている。

家庭はおばあちゃん、奥さんと中二の長女・小五の長男の五人家族。「忙中有閑」よきパパぶりも窺える人柄である。(田上町公民館長 山口誠司記)

がマンネリ化しないように、常にアイディアを出さなければならぬ。大変さはありませんね。」と、まっちゃんが公民館に来てから、新しい事業が多くなった。アンケートを重視し、データを集めて分析して住民ニーズに定めるなど、まっちゃんならではの仕事ぶりである。  
「これからの抱負は？」  
「もっと多くのことを勉強し、住民の期待に応えたい……。」と。新婚四ヶ月、幸せいっぱい。まっちゃん、がんばれ!! (村上市中央公民館 大滝 慈光記)

# 『うど人工栽培』を冊子に

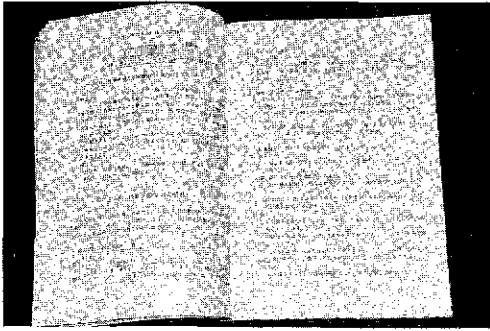
## 柏崎市 北条地区公民館



本紙第四五二号(平成二年十月号)に紹介した公民館探訪記「うどのふるりの実現をめざして」と題した柏崎市北条地区公民館では、館長神林傳氏の尽力で「北条方式、うど人工栽培」むらおこしふる里講座」という冊子を刊行した。

B5判、袋とじの体裁で、ワープロによる手づくりの37ページのもの。

うどの実生栽培方法に関する研究図書は稀有のものとか。このため、北条公民館では、館長と



運営委員によって、試行錯誤の中から、自力開発に成功したもので、そのハウツーを説明した得難い実技の手引き書である。

まきがきには、「ふるりの将来を考え、荒廃の危機にひんしたむらの地域おこしの運動に、うどを触媒としてふるりの活性化を考え……」「同じ目的で、学習を通じ、自分たちの住む地域社会をみんなの力で良くしていこう……」と考える人々にこのテキストが活用されることを望外の

## 聖籠の食文化を

### たずねて

#### 聖籠町食生改善

#### 推進協議会刊

A5判、208頁、平成元年三月初版、同年八月再版発行

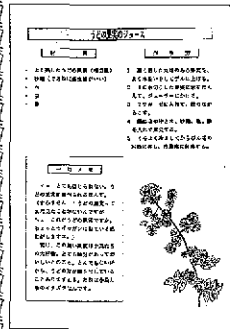
## 図 書 紹 介



喜びと記されている。内容の構成は一、なぜうどの人工栽培か、に始まり、採種と出づくり、採種床の準備と播種、播種後の管理、移植、定植、緑

## 「うどの料理あれこれ」

北条地区公民館では、「うどのふるり講座」の実施とあいまつて、婦人講座では学習テーマに



化うどの栽培、山うど増殖と栽培上の留意点、横穴式軟化法、通年栽培法について、うどの野菜としての特色と栄養価、うどの料理、となっている。

うどの料理法に関する工夫と開発を進めてきたが、戸田洋子指導員を中心とした講座生の協力により、このほど「うどの料理あれこれ」と題する研究冊子を作成した。

B5判、30ページに29種類のうどの料理法が紹介されている。関心あるむきは、直接北条地区公民館へ紹介されたい。

近年県内の各地で聞き書きによる郷土料理の調査活動の集録など、伝承を目的とした冊子の刊行がしきりである。本書も、目的の半ばは同じであるが、さらに、郷土の四季や生活ふりを加えた、ひと味も二た味も濃い編集になっているのが特色である。

構成は、最初に「まちの年中行事と食べ物」篇。統いて「四季の生活」編では、水田地帯、果樹地帯、半農半漁の浜の四季の生活

最後に「編集の経過」で、本書の作成までの手順が記載されており、貴重な研究誌でもある。希望の向きは直接聖籠町公民館へ照会されたい。

電話〇二五四―二七―二三五二  
聖籠町公民館

(電話) 〇二五七―二五―三三五

## 表紙写真解説

春一番 舞いあがる熱気球  
「第15回おぢや雪原まつり」が3月16日(土)〜18日(月)の三日間小千谷市小栗田原会場において開催されます。

三日間は熱気球だけでなく、各種催しものありで、まつり気分最高です。  
是非おでかけください。

## あとがき

◆三月は人事異動の月。顔なじみの方々と別れの挨拶をしなければならぬ月です。とりわけ、功なり名を遂げて職を去られる人たちの思いはひとしおであろうと思います。ご苦労様でした。いつまでもご壮健であることを心から祈念いたします。(上村記)

発行所 新潟県公民館連合会  
【新潟市川端町2-9・県林業会館内】  
【電話・新潟(025)224-6073】  
発行人 会長 木下清  
編集人 事務局 上村捨二郎  
【定価1部120円 年共1,440円】